



\*創立50周年記念ロゴマーク

# 東明

□令和4年12月23日発行  
□男鹿市立男鹿東中学校  
男鹿市船越字根木169番地

## 東中再始動の2022年でした

コロナ禍で止まっていた活動が動き出し、東中に勢い戻る!

本校にとって2022年は、創立50周年を迎える記念すべき年であったとともに、コロナ禍で止まっていた様々な活動を再開することができた年になりました。今号では、2022年の東中を、本校の重大ニュースで振り返ります。

### 感動の周年記念式典・アトラクション

10月28日(金)、ご来賓の皆様をお迎えして記念式典を挙行了しました。コロナの感染拡大が心配されましたが、予定されていたプログラムを全て執り行うことができました。全校生徒による校歌斉唱の高らかな響き、生徒代表加藤晴琉さんの「伝統を引き継ぎ、より一層発展させていく」という言葉の力強さは、式を一層厳粛なものとししました。アトラクションでは、二人の先輩をお迎えしてのトークライブ、男鹿っ鼓の演奏、3年生による「秋田県民歌」で、50周年を盛り上げました。



### 勢いあふれた周年記念運動会

5月28日(土)に実施した運動会では、ほぼコロナ前の内容で、保護者の皆様に公開することができました。全校生徒による入場行進の勇ましい姿、本校の伝統である応援合戦からは、東中生のあふれる勢いを感じられました。記念種目「チームロープ」は学級対抗で行われました。学級のために声を掛け合い励まし合いながら心を一つに取り組んでいる姿からは、各学級の成長の跡が感じられました。



### 笑顔がはじけた周年記念東中祭

9月3日(土)、東中祭を開催しました。本校を会場としては3年ぶりのことです。展示と合唱コンクールのみ、保護者の皆様に公開することができました。本校開催のイメージがもてない不安もありましたが、生徒の豊かなアイデアやあふれる行動力で、50周年にふさわしい東中祭を創り上げました。特に、マスク着用と距離確保という厳しい条件の下での合唱コンクールでは、どの学級も心を一つに合唱を創り上げ、感動を呼びました。終始東中生の笑顔がはじけた一日となりました。



### 華々しい活躍を残した総合体育大会

3年生にとって最後の総合体育大会では、たくさんの栄光を本校に持ち帰りました。特に、女子柔道は、県、東北を突破し、団体、個人ともに全国ベスト16入りを果たすという東中の歴史に残る成績を収めました。また、全県大会へ駒を進めた野球とラグビーについては、屋外競技の応援規制が緩和されたことを受け、学校を挙げて応援態勢を組んで挑むことができたことも大変喜ばしいことでした。2年生がリードしての秋季大会では、先輩の思いを引き継ぎ、総体に負けないほどの成果を上げています。体育館前の栄光の記録コーナーには、今年の東中生の活躍を掲示しています。ご覧ください。



### 地域貢献活動を各出身地域で実施

11月7日(月)、コミュニティ・スクールの機能を生かし学区内三つの公民館との連携で実施しました。地域の皆さんと一緒に活動するイベントとしては3年ぶりです。この取組は、東中生がそれぞれの出身小学校の地域に戻って貢献し、地域を元気にするというねらいもあります。この活動を通して、ボランティア活動の意義に気付いたり、地域のために力を尽くすことのやりがいを実感したりした生徒が多数いたことも大きな成果でした。来年度以降も、大事に育てていきたい活動です。



今週、生徒会が選ぶ「2022 東中の漢字」が発表になり、「祝」という文字が生徒玄関に掲示されました。50周年を祝福する記念事業が大成功だったこと、様々な学校行事が再始動し、充実感をもって終えられたことをお祝いしたい、そのような思いでこの漢字を選んでくれたところが、今年の本校の成果です。来年は、感染予防策を講じながらも、ますます活発に動き出す年となりそうです。来年の干支である卯のように、新年に一層ジャンプアップする東中にご期待ください。(文責 森山)